

富士見市地域自立支援協議会 会議録	
開催日時	平成30年3月29日(木) 午後1時30分から午後2時30分
開催場所	富士見市役所 全員協議会室
出席委員	小菅 賢一 小川 賢司 川端 正則 木内 一夫 木根 渕 主子 瀬尾 英樹 田嶋 英樹 橋本 幸子 藤山 久代 星野 好孝 三川 登喜子 山路 俊介 山道 廣子
事務局	障がい福祉課長 朝倉 朋栄 副課長 水口 優花 主査 三浦 崇 主任 谷沢 典子 主任 谷田 幸子
欠席委員	横山 創 細野 浩一
会議概要	<p>1. 開会</p> <p>2. 委嘱状交付</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市長に代わり障がい福祉課長より委嘱状交付</li> </ul> <p>3. あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい福祉課長</li> </ul> <p>4. 自己紹介</p> <p>5. 協議事項</p> <p>(1) 富士見市地域自立支援協議会について</p> <p>①富士見市地域自立支援協議会設置要綱について事務局より資料2にそって説明</p> <p>(2) 第4期富士見市障がい者支援計画について</p> <p>①第4期富士見市障がい者支援計画(案)に対する意見募集の結果について事務局より資料3にそって説明</p> <p>②第4期富士見市障がい者支援計画について事務局より資料にそって説明</p> <p>委 員：要約筆記について、いただいたパブコメでは、生徒同士でお互いに助け合っている状況のようだが、何かクラブ活動のようなものがあるのか。</p> <p>委 員：文京学院大学では、クラブ活動等はないが、時と場合に応じてボランティアを行う生徒を募集している状況にある。</p> <p>事務局：たとえば、中央大学、早稲田大学、東洋大学では、学生のボランティア登録をして、無償ボランティアと有償ボランティアに分かれて学生支援を行っているという表記を各大学のホームページで確認している。</p> <p>(3) 今後の予定について</p> <p>①富士見市障害者施策推進協議会について事務局より資料4にそって説明</p> <p>委 員：地域自立支援協議会は今月で終了し、4月から富士見市障害者施策推進協議会になるのか</p> <p>事務局：そのとおりである。</p> <p>委 員：条例を制定して、それに基づいて、地域課題について協議し、障害者施策を</p>

推進していくことは、これまでの会議、話し合いの中でも意見を頂いていたことである。この件については賛成し、意欲的に取り組んでいきたいと思っている。同じような条例を制定して取り組まれている市町村があればお聞きしたい。

事務局：障害者施策推進協議会と同じような機能を持って取り組んでいるところは、県内で、所沢市、東松山市、鴻巣市、久喜市、新座市、さいたま市である。また、協議会は計画が3年計画になっているので任期も3年にし、市民委員を5月に1人公募したのち、初回の会議は7月ごろを予定している。

委員：計画書の施策内容について、各課の課題はどのようなことを話し合ったのか。

事務局：第4期計画の策定にあたって、第3期計画の取り組み状況調査を実施し、取り組みができたか、できていないかを確認し、第4期計画に反映した。

委員：公共施設の職員も集めて話し合っているのか。例えば社会福祉協議会の職員や鶴瀬西交流センターの職員も含めて話し合うことはあったのか。

事務局：計画の82ページに庁内の関係課長で構成する富士見市障害者計画推進委員会があり、この委員が集まって計画策定の話し合いをした。

委員：鶴瀬西交流センターで利用者の意見交換をしたが、聴覚障がい者の当事者として、防災訓練に関して障がい者がおざなりになっているように感じていると伝えた。耳が聞こえない人に対して、災害が発生したことが目に見える形で伝えてほしい。以前、鶴瀬西交流センターで聴覚障がい者の集まりがあったときに防災訓練が行われたが、突然職員が入ってきて話をし始めたということがあった。センターの利用者には身体障がい者、聴覚障がい者、視覚障がい者もいるなかで、どういう対応をしているのかを聞き、職員の対応の落ち度を謝っていただいた。平成25年に障害者差別解消法が制定されたが、浸透していない。また、トイレで災害が発生したときの対応が怖いと感じる。放送だけで終わらず、目で見てわかるような対応にしていってほしい。市民体育館のトイレにはパトライトがついた。鶴瀬西交流センターだけでなく、ふじみ野交流センターの整備も同様である。当事者が訴えていかないと実現しない。ここだけで話し合っても進んでいかないと感じる。

事務局：計画の中にも、バリアフリーに配慮した施設整備を謳っているのですが、我々からも強く発信していきたい。

## 6. 閉会